

---

# 江戸小唄    パチアタリ

南 多聞

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

江戸小唄 バチアタリ

### 【Nコード】

N7140Q

### 【作者名】

南 多聞

### 【あらすじ】

江戸小唄 奈良の大仏へお参りした後に

よくぞおこし頂きました、今年は太陽の黒点活動が激しゅうございまして、こんな年は要注意なんでございますよ。戦争、内乱、天災と物騒な年になるんでございます。

先日も神社へ参拝にいきまして、お御籤引きました所、何と大吉が出てしまうのですよ。

普通の方は大吉喜ぶんですがね、あたしは嫌いなんでございますよ・もう上がりようが無い。

大凶が大好きなんでございます・これ以上落ち様が無いってね。

さて、物事は見様によって変わるものなのですが

大工の八さんと長屋の大家さんとの話をしています。

「大家さんごめんなさいよ」

「おや八つあん、どうしたんだね」

「いえね、母<sup>かか</sup>アと奈良の大仏さんへチヨイトお参りへ行つてきやして、大家さんにお土産でサ」

「そうかい、八つあんにしては気が利いてるじゃないか」

「それがその後<sup>あと</sup>夢見が悪くて、それで大家さんに相談でさ」

「お参りしたあと夢見が悪いとは、ご利益<sup>りやく</sup>貰ったんじゃ無いのかい、どんな願いをしたんだね」

「お願える前に、大仏さんの手の格好に圧倒されちまつて」

「あの手の形は印相と言つてな、右手は施無畏<sup>せむい</sup>で安心しなさい、左手は与願印<sup>よがんいん</sup>で願いを叶えるということなんだよ」

「あつしが賽銭ケチったもんだから、昨晚大仏さんが右手でチヨイト兄さんと中指曲げて『何かお忘れやしてやせんか』と手招きしやして、左手の親指と人差し指で丸を作るんでサ」

「ケチったって幾ばくかのお布施は出したんだろっね」

「大家さんそれが、一銭も出さずでして」

「そりゃいけないね、今更奈良までは無理つてもんだ。そうだ鎌倉の大仏さんに行つて奈良の大仏さんの分もと賽銭あげてお出でよ」

翌日、八つあんは血相を変えて再び大家を訪れた

「大家さん 大変な事に成つちまつた」

「どうしたんだよ、今度はご利益頂いたかい」

「鎌倉の大仏さん、両手を受けて待つてたんでサ」

「それは良かった、もし大仏さんが手を上げてたら」

「手を上げてたら？」

大仏だけにブツぞう、どうぞ になります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7140q/>

---

江戸小噺 バチアタリ

2011年10月8日14時47分発行